

【東京都美術館】指定管理者提案書類(事業計画書) 概要

1. 管理運営の基本方針

■基本方針

平成21～28年度
リニューアルを経た新生・都美術館の第一歩
平成29～37年度
文化ビジョンの実現に向けさらなる発展を遂げるステップ
平成38年度【開館100周年】
100年の歴史と伝統に培われたレガシーを次世代に継承

《ミッション》
・全ての人に開かれた「アートへの入口」
・「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き「生きる糧としてのアート」と出会う場
・人々の「心のゆたかさの拠り所」

《4つの役割》
1. 世界と日本の名品に出会える
2. 伝統を重視し、新たな息吹との融合を促す
3. 人々の交流の場となり、新しい価値観を生み出す
4. 芸術活動を活性化させ、鑑賞の体験を深める
これらを右の4つの柱により具現化する

■館の機能の総合的な発揮



■東京文化ビジョンの実現に向けた取組

文化戦略2 「文化の杜」上野における中核的な役割：「とびらプロジェクト」により人々がつながり合う場をデザイン

文化戦略6 アートの力を活用して文化・教育格差など社会の課題解決に貢献

文化戦略3

・「アートへの入口」として「創造と共生の場」を形成：子供から大人まで楽しめる事業、対話によるコミュニケーション
・世界と日本の名品の鑑賞機会を提供し、広く都民へアートに対する関心を喚起
・新たな価値や可能性を見出す展覧会等を実現：「アーツ&ライフ」「現代作家」「アーツ&ケア」
・公募展や学校教育展の会場として作品発表の場の提供と新たな創造性を共有
・アートを紹介した人々のつながりの形成：障害のある方のための特別鑑賞会の実施など



障害のある方のための特別鑑賞会

■東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた運営戦略と取組

・海外の主要なミュージアムとのネットワークを活かし様々な展覧会やイベントを企画

世界と日本の名品紹介
・「世界の中の日本美術」「東洋と西洋の美術」の展覧会を開催
・日本の伝統的な美意識を世界に紹介

「アートへの入口」の形成
・来館者が気軽に日本の伝統文化に触れる機会を創出
・日本独特の市民文化を外国人来館者へ紹介

創造と共生の場
・高齢者や障害を持つ人による表現の深みに焦点
・「アートの力」の再認識、さらなる可能性や新たな価値観の提示

新進作家の紹介
・公募展の活性化と新進作家の育成

■国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)

海外	海外美術館展の開催、国際博物館会議への加盟	地域	上野公園:Museum Start あいうえの 台東区:教育委員会と連携した学校連携事業
国内	国内の美術館等のネットワークに参加、情報交換・交流	財団内	他館と連携したコレクション展の開催、音楽会参加者の割引、まちなかコンサート、TURNフェス(アーツカウンシル東京)
都内	都内施設との連携し、来館者の利便性・館の認知度向上を図る		

2. 事業に関する業務

■美術作品等の分類整理、記録及び保管等

・都民の財産である作品を良好な状態で次代へ引き継ぐ

■調査研究

・対象:作家、作品所在、都美術館と公募団体の歴史等
・手段:学会等への参加、共同研究、館外研修等
・成果の還元:展覧会、学会発表、他美術館の委員等

■展覧会

①特別展(新聞社、テレビ局等と共催)
・世界の美術館と連携し、質の高い芸術作品に親しむ機会を提供、多様な視点で時代や地域を紹介
②企画展(学芸員の立案により独自に実施)
・「生きる糧としてのアート」と出会う場の提供、社会に対するメッセージの発信、障害者など多くの人々に開かれた展覧会を開催
③コレクション展:都美術館や都立各館の収蔵品を活用・公開

■公募展

・公募団体展・学校教育展:人々の交流と様々な価値を見出す創造活動を促進、支援

○公募展活性化企画展

・公募団体ビエンナーレ 美術/書(仮称):
館が主体となり、公募団体で活躍する作家を紹介
・グループ展:内容と企画性を重視し展覧会企画を公募、公募展の活性化を図る

■教育普及活動

・多様な人々との対等な対話から生まれる美術館活動の新しいあり方を重視(とびらプロジェクト、Museum Start あいうえの等)

■その他の事業

・美術情報室:アートへの入口、アーカイブ機能を担う
・アートラウンジ:無料休憩所やコンサート等に活用

■人材の育成

・アート・コミュニケータ、エデュケーターの育成、アーティスト育成(公募展活性化事業)、インターンシップ受入れ

■館の事業を支える仕組み

○広報:年齢・使用言語・障害の有無等による情報格差を解消「全ての人に開かれた」広報を目指す

○来館促進:障害者のための特別鑑賞会、「とびらボード」貸出、ベビーカートゥアー、ホームカミングデイ等の開催

○人々の自発的な活動との連携:「アート・コミュニケータ東京」との協働、学校・教員との連携(ティーチャーズ・デイ等)

○外部意見等:専門家や一般来館者の意見を取り入れ反映

○ニーズの把握:顧客満足度調査・非利用者調査の実施

○外部資金の導入:協力金・助成金の獲得、共催者との共同出資方式や分担金による実施、資・機材等の現物支給等

3. 館の運営に関する業務

■休館日及び開館時間

・上野公園内文化施設との相乗効果を図る開館時間
・夜間開館の実施 7月・1月にメンテナンス休館

■館内サービス

・コンシェルジュの配置:館内案内、観光案内、外国語対応
・外国人対応:サイン整備、日英表記、決済手段の多様化
・混雑時:開門時間変更、テント設置、待ち時間情報発信等
・救護室、授乳室の設置、バリアフリー化、託児サービス
・ショップ、レストラン・カフェの運営
・ホスピタリティをもった、スタッフの顔の見えるサービス
・お客様からの意見・苦情への迅速な対応

■施設及び付帯設備貸出し

・講堂:文化芸術関連の授賞式、講演会、セミナー等に活用
・スタジオ:ワークショップ等の創作活動、会議等に活用

4. 組織及び人材

・専門性と経験実績がある職員を適材適所に配置
・美術館の使命を自覚し「心のゆたかさの拠り所」となることを目指す職員を育成
・各種研修により専門能力、事務処理能力、経営上のバランス感覚の向上を支援

5. 館の管理その他に関する業務

■館の管理

○施設等の管理業務:これまでの歴史と伝統を重視し、事業・運営を支える適切な維持管理

○危機管理:災害対応力を備え、来館者・職員の生命及び後世に継承させていくべき文化資源を守る

・お客様の安全確保:危機管理マニュアルに基づく対応、テロ等の人的災害への対策、各種訓練の実施

・展示品・収蔵品:安全な展示・収蔵、盗難対策

・大規模災害発生時:一時滞在施設等の役割を適切に果たす、アクションカード(役割別の行動指標)の運用

■地域等との連携の取組

上野「文化の杜」新構想会議:上野公園及び周辺地域のネットワークを強化し、文化交流のハブとして整備
Museum Start あいうえの:上野公園内文化施設が連携し子供たちのミュージアム・デビューを応援するプロジェクト

テロ対処合同訓練

